

高等学校芸術科（音楽）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1 ※ 別紙 (計1枚)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 4
	2 ※ 別紙 (計1枚)		10
	3 ※ 別紙 (計1枚)	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 正確で読みやすい記譜の表記であること。 演奏が可能な音域で創作されていること。 創造性豊かな表現の工夫が見られること。(リズム, 旋律の変化, 和音の変化など) 旋律から、楽曲のもつ特徴や雰囲気を理解し、適切な速度, 強弱, 表現の方法を設定していること。(速度記号, 強弱記号, 発想記号等の表記)	40
2	題材名 (交響詩「フィンランディア」の文化的・歴史的背景を理解して、音楽のよさや美しさを味わおう)		30
	時間	学習活動	
	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ オーケストラの楽器の音色, 旋律, 強弱などを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する。 ・ 交響詩「フィンランディア」を聴いて, 曲想や音楽的な特徴について気付いたことを自由に話し合う。 ・ 交響詩「フィンランディア」の冒頭と賛美歌風の旋律の部分の音楽を比較しながら聴き, 2つの旋律の違いや, それによって生み出される曲想の違いをワークシートに書き, 発表し合う。 ・ 交響詩「フィンランディア」の冒頭と賛美歌風の2つの旋律の違いや, それによって生み出される曲想の違いを確認しながら, 楽曲全体を通して聴く。 	
第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽曲の文化的・歴史的背景や作曲者の思いと表現の特徴とを関わらせて聴く。 ・ 交響詩「フィンランディア」の楽曲の成立に関する資料や教師の話から, 楽曲の文化的・歴史的背景について理解する。 ・ 作曲者の思いがどのように楽曲に表れているかを考えながら部分ごとに聴き, 全体で話し合う。 ・ 交響詩「フィンランディア」の各部分の旋律の特徴や, それによって生み出される曲想の違いを確認しながら, 楽曲全体を通して聴く。 		
第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの学習を踏まえて, 交響詩「フィンランディア」を鑑賞し, 楽曲を解釈したり, 自分にとっての楽曲の価値を考えたりして, よさや美しさを創造的に味わう。 ・ 交響詩「フィンランディア」の曲想と音楽を形づくっている要素との関わり, 楽曲の文化的・歴史的背景及び作曲者の思いと表現の特徴を踏まえ, 交響詩「フィンランディア」の紹介文を書く。 ・ 紹介文の内容を基に意見交換し, 改めて交響詩「フィンランディア」を鑑賞する。 		
		題材名は、問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 学習活動は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	

高等学校芸術科（音楽）採点基準

2枚のうち2

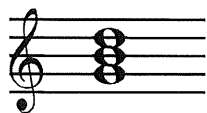
【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点			
3	1	(a) (エ)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 2	30		
		(b) (イ)					
	2	(ウ)		5			
	3	(1)		歌の前後、または歌に合わせてはさみ込む掛け声の一種。		1つ書かれていればよい。	各 5 × 3
(2)		曲頭のフレーズを独唱あるいは独奏し、それに続いて、多数の人数の人たちが同時に演奏する形式。					
(3)		歌い手が即興的につける、細かい装飾的な節回し。					
4	<ul style="list-style-type: none"> ・範奏や視聴覚教材によって、実際の音色を聴いたり奏法を見たり、実際に弾くなどして、「六段の調べ」にふさわしい演奏の方法を見いだす学習活動。 ・「コロリン」など、唱歌をすることで音色や奏法などの特徴をつかむ学習活動。 		1つ書かれていればよい。	10			
5	1	(ア) 滝廉太郎	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 2	22		
		(イ) 團伊玖磨					
	(2)	(a) 交響楽団		1つ書かれていればよい。		各 3 × 2	
		(b) 図形楽譜					
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「ソプラノとアルト」「アルトと男声」など2パートずつで、正しい音の高さで歌い、互いの声を聴き合いながらハーモニーをつくらせる。 ・自分の声の共鳴や他のパートとの声の重なりを確認しながら歌わせる。 ・アーティキュレーションを合わせて歌わせる。 ・フレーズを統一して歌わせる。 ・強弱や音量のバランスに気を配りながら歌わせる。 		1つ書かれていればよい。	10			
6	1	(ア) 仏教儀式で僧侶が唱える声楽。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 4	28		
		(イ) 歌詞や階名を用いず、母音で歌う歌唱法及びその作品のこと。					
		(ウ) 軽く。					
		(エ) ある一定の音型を、楽曲全体を通じて、あるいはまとまった楽節全体を通じて、同一声部で、同一音高で、絶えず繰り返すこと。					
	2	(ア)		楽 曲 名 アランフェス協奏曲		作 曲 者 名 ロドリゴ	各 3 × 4
		(イ)		楽 曲 名 牧神の午後への前奏曲		作 曲 者 名 ドビュッシー	
7	創作に関する理論や技法の学習を先行させ過ぎたり、曲を完成させることのみをねらいにしたりすることなく、創作する楽しさや喜びを味わうことができるようにする。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10			

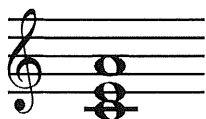
1

1

(ア)



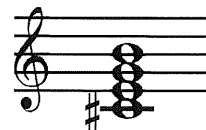
(イ)



(ウ)



(エ)



2

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

3

Andante maestoso